

長寿を祝して

9月15日、各施設で敬老会を催しました。サンシャイン美濃白川では、お祝いの席に駆けつけてくださった白川町長からご祝辞をいただき、それ応えて、代表で米寿を迎えられた森利津子さんが、挨拶と唄の披露をされました。

その後は久しぶりにご家族との食事を楽しまれ、午後からは白北民謡会のみなさんによる創作劇『岸壁の母』を鑑賞されました。中には、昔のことを思い出して涙される方もおられました。

これからもお元気で過ごされることを願っています。



▲白北民謡会の方と記念撮影

ボランティア感謝の集い

サンシャインには、今年度既に延べ1000人を超えるボランティアさんに来ていただいています。



漫才師 ビッグボーイズさん▲

▼落語家 雷門獅筆さん



日頃の感謝の気持ちを込めて、10月18日に町民会館にて「ボランティア感謝の集い」を開催しました。今年は落語家の雷門獅筆さんと漫才師のビッグボーイズさんをお招きし、みなさんに思いっきり笑って楽しんでいただきました。

“笑う”ということは、体に悪影響を及ぼす物質を退治するナチュラルキラー(NK)細胞が活発になり、免疫力がアップするそうです。たくさん笑って健康でいられるようにしたいです。



ボランティアコーディネーター 長尾真美から一言

サンシャインに来てくださるボランティアさんはとても明るくて、施設のためにという思いで活動を続けてくださるので、職員もいい刺激を受けています。

最近では、入居者とボランティアさんとペアで楽しむコミュニケーションセッション麻雀が人気です。お互い「次は勝つぞ。」と真剣勝負を通して楽しい時間を過ごしていただいているようです。また、ハンドマッサージボランティアさんに来ていただき、入居者からの「気持ちがいい」「指先が温かくなった」「また、やってもらいたいわ」との言葉にやりがいを感じておられるようでした。

ボランティアさんが友達をつれ、またその友達が仲間を誘ってくださることでボランティアの輪が広がっていきます。「ボランティアに来ることが私の生きがいやで」「家族がお世話になったから恩返ししたい」ときっかけは人それぞれですが、ボランティアさんにとって居心地の良い場所にしたと思っています。

これからもよろしく願います。